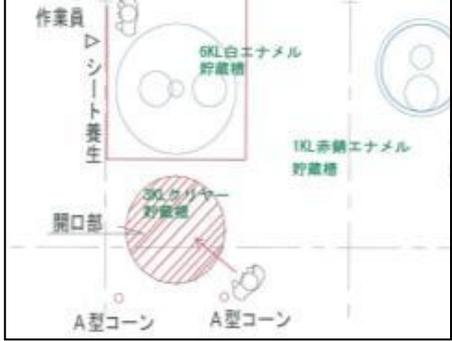


日塗工整理No.		2016-25		労働災害状況調査表	
発生会社 事業所					
災害発生日時		2015年 5月 27日(水) 14時 50分 天候(晴れ) 温度(°C)湿度(%)			
災害区分		不休災害 <u>休業災害</u> (休業: 60日)			
被災者	部門	—		雇用形態 正社員、派遣、契約、 <u>その他</u> (工事業者)	
	年齢	37 歳	性別: <u>男</u> 女	勤続年数 15年 ヶ月	経験年数 15年 ヶ月
	傷病名	病名 (骨折)			
	傷病部位	右大腿部、右肘			
災害発生状況	① 2階に隣り合って設置されている固定タンクの撤去作業を行っていた。		状況概略(写真orイラスト)  		
	② 災害時、1ヶ所目のタンクの撤去を完了し、床面は開口状態にあった。				
	③ 引き続き2ヶ所目のタンクの撤去準備中、2ヶ所目のタンクの防災養生確認の為に不用意に作業員が撤去したタンクの床面開口部に近づいた。				
	④ その際、養生の上部の確認に気を取られ、足元の床面開口部に気付かず1階に転落した。(約4m)				
	なお、開口部付近は、カラーコーンを置いていたが進入防止バーを架けていない状況にあった。				
災害の型 ^{※1)} : 1 墜落・転落		作業の形態: 定常、 <u>非定常</u> 、その他()			
起因物: 床面開口部		特記事項 特になし			
原因分類	1.人的要因(man): 確認不足(不安全行動)				
	2.物に関する要因(machine): 進入防止バーの未設置、安全帯の未使用				
	3.環境要因(media): 特に無し				
	4.管理的要因(management): 開口部処置方法のルール化は未実施				
対策	① タンク撤去後は、直ちに足場板等で床面開口部を閉鎖することとする。				
	② カラーコーン・バーを作業場所に十分用意しておき、床面開口部が出来れば速やかに設置する。また、落下防止を目的とする時は、開口より1.5m以上距離をおいて設置する。				
	③ 緊急連絡表を場内に掲げ、ミーティング等で作業時の注意喚起と災害時の連絡体制の見直しを行う。				
	④ 落下の危険性のある作業は親綱を張り、安全帯着用で作業を実施する。				
対策分類 ^{※2)} : 1-2 災害・事故の想定と対応、1-5 変更管理、1-6 教育、2-1 マネジメント、2-4 危険認識					

※1) ①から選択

※2) ②から選択 (複数可)